

令和2年度

# 事業報告書



社会福祉法人 永光会

居宅介護支援事業所 永光荘

## 1) 総括

令和2年度上期には新型コロナウイルス感染予防のため通所系利用者の数名が利用中止するケースもあったが、1回目の緊急事態宣言解除と共に利用を再開している。新規利用者の依頼は年間を通しコンスタントにあるも、新型コロナウイルス感染予防のため外出自粛や外出回数が激減した影響により心身の状態が低下した利用者が増加、年度下期には転倒による骨折等で入院になるケースも多くみられた。

また介護支援専門員は外部への訪問業務が多いため、自らが新型コロナウイルスの感染源とならないよう配慮しながら業務を遂行した。

(新型コロナウイルスへの対応)

- ・ 外部施設、病院は面会制限のため利用者との直接面会不可。電話や書面での情報収集を実施、一部オンラインでの面談。
- ・ 2事業所併用利用者を1事業所利用へ移行。(移行承諾利用者のみ変更)

事業計画の年度目標と取組み結果を以下に示す。

### 【年度目標①】

担当月間利用者数、月平均130人(要介護95人、要支援35人)。

(評価)

令和2年度結果、月平均120人(要介護92人、要支援28人)。

今年度は上期で新型コロナウイルス感染予防のため通所利用者の利用控えにより利用者数が減少。下期も骨折や、不活発な状態が続いての心不全等での入院者が増加するなどの影響により担当利用者数の目標は達成できなかった。

### 【年度目標②】

利用者が在宅でより長く生活できる環境作りを行う。

(評価)

新型コロナウイルスの影響により医療・福祉・社会保障制度等の関係機関との連携・情報交換がはかどらず情報不足になりやすかった。またケアマネジメントに関する研修会が中止となったため、知識・技術の向上を図る機会が少なかった。わずかな聞き取りの中で情報収集を行いサービス調整を実施、利用者が外出自粛の中でも在宅でより長く生活できる提案を行うことができた。

### 【年度目標③】

経費の節減。

(評価)

徒歩や自転車圏内への移動は無理のない範囲で公用自動車を使用せず、燃料費の削減を実施。また新型コロナウイルスの影響により訪問、対面での業務の減少により書面での情報交換が主流となり書面作成の増加によりコピー用紙やインクの使用量も増加傾向となったが、裏面の再利用やリサイクルインクを使用することにより経費の節減に努力した。今後も継続していきたい。

## 2) 付表

表1-1 要介護度別利用状況

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和 2年度	375	306	287	89	53	1,110
令和 元年度	394	324	264	130	69	1,181

表1-2 月別利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	31	27	31	33	31	32	33	36	35	36	35	34	375
女	58	60	61	60	61	61	61	57	64	60	56	57	806
合計	89	87	92	93	92	93	94	93	99	96	91	91	1,110
令和 元年度	106	107	102	99	90	98	97	98	101	96	94	93	1,181

表2 介護予防 月別利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	8	7	7	7	7	8	8	8	9	9	10	10	98
女	19	18	19	20	19	19	19	18	19	20	20	21	231
合計	27	25	26	27	26	27	27	26	28	29	30	31	329
令和 元年度	33	32	32	33	34	33	33	33	34	31	33	28	389

表3 共同事例検討会実施状況

実施日	実施場所	事例検討内容
令和2年10月16日 金曜日 13:30~	渋川市社会福祉協議会 子持支所 会議室	家屋と土地の所有者が他人同士で双方他界しているケース (事例提供：渋川中央病院)

※新型コロナウイルス感染予防のため開催規模を縮小（各事業所1人参加）。  
年4回開催予定のところ、1回のみ開催となる。